

# 長野県社会福祉士会 NEWS

第179号  
2020/7/1



発行▶公益社団法人長野県社会福祉士会  
会長 萱津 公子  
事務局▶〒380-0836長野市南県町685-2  
長野県食糧会館6F  
編集▶広報編集委員会  
発行部数▶2,400部

TEL▶026-266-0294 FAX▶026-266-0339 E-mail▶info@nacsow.jp HP▶https://nacsow.jp/

社会福祉士・長野県社会福祉士会の存在と役割…………… 1  
長野県社会福祉士会の新型コロナウイルス対策  
…………… 2~3  
中期ビジョン2020の推進 …………… 4

contents

シンボルマークについて、信州ぐるっと!! …………… 5  
特集 私の考える社会福祉士、社会福祉士とは  
…………… 6~7  
リレーエッセイ、2020年度定時総会、編集後記 …… 8

## 『笑顔をつなぐ』 社会福祉士・長野県社会福祉士会の存在と役割

奥原和彦（理事・広報編集委員会委員長）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により社会の在り方が大きく変わりつつあります。新型コロナウイルス感染症対策の基本は、人との接触機会を減らすこと、人々との距離を確保すること、「三つの密」（密閉、密集、密接）を避けることなどとされています。

しかしながら、相談援助の専門職としての私たち社会福祉士にとって、人々のかかわりは欠かすことはできません。

人は社会において、常に何らかの集団に属しています。人間と集団はそれぞれ分離しているのではなく、常に相互依存して人間としての成長や社会生活へ影響しあっています。そう考えると集団は、人格や価値観だけではなく、それぞれ個人の思想や態度、行動など、生活にかかわるあらゆる側面に影響するものであります。

いまだにウイルスは存在しており、さまざまなリスクがあります。我々はウイルスとの共存を図るために提起されている「新しい生活様式」と地域共生社会の実現を念頭に、社会全体で推進する必要があると思います。

我々は、新型コロナウイルス感染症対策によって生活困窮になってしまった方々や感染症対策に追われている医療・福祉関係者、さらには医療・福祉が滞ってしまった当事者の方々が、「新しい生活様式」の取り組みから外れないように社会的発信（ソーシャルアクション）を起こしていく必要があります。

日本社会福祉士会には倫理綱領と行動規範があります。「人間の尊重」、「社会正義」の実現に貢献することなどが謳われています。社会福祉士は「人間の尊重」、「社会正義」の実現に対して、どのようにアプローチする

のか、社会福祉士それぞれの行動が問われています。

社会福祉士個々人が、それぞれの立場で取り組むことも大切ですが、さまざまなネットワークを構築しながら、社会福祉の専門家集団としてソーシャルアクションをしていくことも本会の重要な役割です。

本会は4月の2020年度第1回理事会で「中期ビジョン2020」を策定しました。

中期ビジョンのテーマは

『笑顔をつなぐ』

築こう 誰もが安心して暮らせる社会

高めよう 社会福祉士の価値と専門性

ともに歩もう 長野県社会福祉士会 です。

本会の広報紙第1号は「ながの社会福祉士会NEWS」として、1992年11月の設立総会とともに発行され、今号で第179号となりました。今号より表紙デザインを4年ぶりに刷新し、新たなシンボルマークも入れ、題字も「ながの社会福祉士会NEWS」から「長野県社会福祉士会NEWS」へと変更しました。

広報紙は、本会会員と長野県関係行政機関、福祉事業所などに配布されております。

社会福祉士の皆様、今一度、県下で必要とされる資格であることを再認識して、本会会員として、ともに行動し、誰もが住みやすい社会の実現に貢献しましょう。

そして県民の皆様、社会福祉の向上と権利擁護のために社会福祉士をぜひご活用ください。併せて2ヶ月に1回発行する「長野県社会福祉士会NEWS」を今後ともご愛読をお願いします。

（シンボルマーク等関連記事5ページ）

# 新型コロナウイルス対応関係実態調査結果と対応方針

長野県社会福祉士会2020年度定時総会に際して実施した、会員へのはがきによる新型コロナウイルス対応関係実態調査（項目は①困っている、懸念していること、②工夫や特別な対処方法、③会として取り組んで欲しいこと）について、回答スペースが少ないにも関わらず、702人と実に多くの会員の皆様からご意見をいただきました。回答いただいた内容は以下のとおりです。

この調査結果を受けて、6月13日に全理事17人が出席して開催したオンライン理事会で新型コロナウイルス対応について協議し、次ページのことについて会員の皆様と取り組んでいくことを確認しました。

## I 新型コロナウイルス対応関係実態調査 はがき回答

※数字は概ね同意見の人数

### 1 困っていること、懸念していること …… 379人の回答

◇ 施設内感染のリスク等	72人	◇ 事業収入の減、経営困難	33人
◇ 支援方法、モチベーション等	58人	◇ マスク、消毒薬の物資不足	24人
◇ 施設等での面会制限等	51人	◇ 訪問活動が困難等	19人
◇ 差別・偏見・虐待の増加等	44人	◇ 直接面談の業務が困難等	12人
◇ 孤独解消・ネットワーク等	36人	◇ 情報の収集が困難等	12人
◇ 生活困窮者の急増等	35人	◇ その他	23人
◇ 子育て、児童・学生支援等	35人		

### 2 工夫や特別な対処方法 …… 245人の回答

◇ 3密の回避（テレワーク、時差出勤、短時間勤務、面会制限等）	53人	◇ 法人・事業所の統一指針・指示・教育等	13人
◇ 感染防止のため除菌、手洗い、うがい、検温の実施、マスク、アクリル板等	53人	◇ 地域のネットワークづくり等	13人
◇ 情報収集、提供等	25人	◇ 自粛、必要最低限の外出等	12人
◇ 筆談やメモ、電話等に配慮	15人	◇ Web会議（LINE、Skype活用）	11人
		◇ 支援者を支える支援、相談の開設等	7人
		◇ 基本に戻っての対応、柔軟対応等	6人
		◇ 縮小営業、事業経営の検討	5人
		◇ 子どもたちへの安心・安全等	5人
		◇ 医療職と連携、学ぶ機会の提供等	4人
		◇ その他	18人



### 3 長野県社会福祉士会として取り組んで欲しいこと …… 189人の回答

◇ 実態把握、調査と県・関係機関に提案等	35人	◇ 社会福祉士・会の存在を高める等	10人
◇ 生活全般の相談体制・生活困窮者支援等	33人	◇ マスク・消毒薬の確保・支援等	10人
◇ 情報の共有・発信等	27人	◇ 支援者への支援企画実施等	4人
◇ web研修オンライン実習・講習会等	25人	◇ 相談支援体制づくり等	3人
◇ 虐待対応・権利擁護の推進等	15人	◇ 学校と連携、子ども・学生への支援等	7人
◇ 会員の話し合い・情報交換、情報の発信等	13人	◇ その他	25人
◇ 他職種間等の協働活動の展開活動等	13人		

## II 長野県社会福祉士会の新型コロナウイルス対応

～ 会員の創意工夫、知恵を結集して取り組んでいきましょう～

### 1 長野県行政や国等へのソーシャルアクションについて

社会福祉士が安心して課題に取り組める経済的な保証の運動（要望）等について、新型コロナウイルス対策に苦心する社会福祉士への経済的な保証について、2020年5月22日長野県知事に要望した。

- ① この件以外にも要望事項を整理しながら、福祉現場や社会福祉士の置かれている状況について、長野県や日本社会福祉士会を通じて情報の提供や要望を行う。
- ② 理事会として、何が課題であり、何を要望すべきかを情報収集し、正副会長を中心に整理し、理事と情報共有を行い迅速に情報提供や要望を行う。



### 2 各種研修会や地区学習会等の開催について

新型コロナウイルスの対応について、長野県は「6月1日以降の長野県としての対応」を発表した。

この中の「社会経済活動再開に向けたロードマップ」では、6/1～18までが活動準備・始動期、6/19～7/9までが県内需要拡大・交流展開期となっている。本会では、これを受けて次のことを確認した。

- ① 今まで中止や延期を決めていた地区学習会、および研修会を可能な限り開催していくこと。  
具体的な研修の内容や日時・会場等についてはホームページに随時掲載していく。
- ② 研修会などの開催にあたっては新型コロナウイルス感染予防に留意し、研修等の会議・打ち合わせから、積極的にオンラインを活用していく。グループワーク・演習についても、Zoom等のグループ分け機能を活用・工夫して開催を目指す。

集合研修の場合、受講者などにはマスクの着用およびこまめな手洗いを呼びかけ、会場は十分なスペースを確保し、3密にならない人数とし、定期的な換気に配慮する。受講者の席は1m以上空け、消毒液や非接触型体温計、予備マスクを準備して、設備や機器、器具の消毒を行い、万全の態勢で実施する。

- ③ 長期的には、新型コロナウイルス感染拡大の第2波、第3波にも備えて、本会の研修会、セミナーの開催についての判断基準を策定していく。



### 3 会議・委員会などの開催について

南北に長く、集まるために時間的にも経費的にも厳しい長野県においては、県内で一堂に会しての会議は、新型コロナウイルス発生前からの重要な案件であり、以前から理事会や正副会長会議はオンライン会議を行ってきた。

- ① 地区三役会・役員会・各委員会は、この機会にオンラインでの会議を積極的に推進する。  
新型コロナウイルス発生後、役員・各委員会委員延べ約200人のオンラインでの会議の可能性について調査を実施。ほとんどの人は対応可能との回答を得た。一部環境が整っていない人には、事前の資料提供等に配慮をしながら、オンライン会議の可能な場所へ移動し、実施していくことを確認した。
- ② メールやホームページを活用し活動を推進する。  
一斉メールやホームページにおいて、継続的に情報発信していくこととする。

### 4 その他・相談援助業務について

会議や打ち合わせなどは、国や県は「新しい生活様式」の実践と定着推進に合わせて、オンラインなどでの開催を提起しているが、相談援助業務において、利用者との面談・信頼関係の構築、コミュニケーション、アセスメントによるニーズ把握等は極めて重要で、全てをオンラインに移行することは困難である。

しかし、ソーシャルディスタンスを意識し、第2波・第3波の感染拡大を予防しながら、会員の創意工夫、知恵を結集して取り組んでいくこととする。



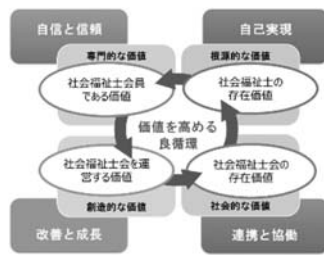
# 公益社団法人長野県社会福祉士会 中期ビジョン2020の推進 新たなるステージへ! Go Beyond <sup>^^</sup>

2020年度を初年度とする中期ビジョンに対して会員の皆さんの関心は高く、提起された社会福祉士および社会福祉士会等の価値を高め、期待に応えられる長野県社会福祉士会を目指して推進して行こうなどの力強いコメントが寄せられました。

## 『笑顔をつなぐ』

築こう 誰もが安心して暮らせる社会  
高めよう 社会福祉士の価値と専門性  
ともに歩もう 長野県社会福祉士会

◇崇高な理念と今後の方向性について、改めて考えさせられました。そのような中で中期ビジョンに照らし合わせ、自分が何をすべきか、具体的実践については、もう少し時間をかけ咀嚼したいと思います。プロジェクトチームのみなさまのご尽力に感謝いたします。



(神原久美子・会員No.21152)

◇中長期ビジョン2020の内容については、特に社会福祉士会会員である価値を高めることについて共感しました。会に加入しても会費を取られるだけといった人を一人でも少なくするために、ネットワークを促進しながらさまざまな学びの場に参加できる、しやすい取組を進める必要があると感じました。

(竹内 雅智・会員No.33236)

◇まず、スローガンとデザインマークがとても良いなと思いました。ピンバッジが欲しいです。指標を確認し、参加と協働に力を入れたいと考えております。SDGsの視点を取り入れていくことも必要だと思いました。

(西澤 智美・会員No.3040)

◇「笑顔」というワードが良いと思いました。社会福祉士が目指すものが権利救済ではなく、権利擁護だとすれば、生命や安心だけでなくワンランク上の「笑顔をつなぐ」プロになることを目指していきたいと思います。

(土屋ゆかり・会員No.2775)

◇活動方針の自信と信頼、自己実現、改善と成長、連携と協働の4つの価値からPDCAサイクルによって価値を高める活動を示していくのは分かりやすく感じます。社会福祉士取得がゴールで終わっている方が多いのは個人で捉えている、事業所内の業務で完結している方が多いためだと感じる。継続的な研鑽で社会福祉士の価値を高めていくために、循環を示して自分にフィードバックしていることを認識してもらうことが大切だと感じる。

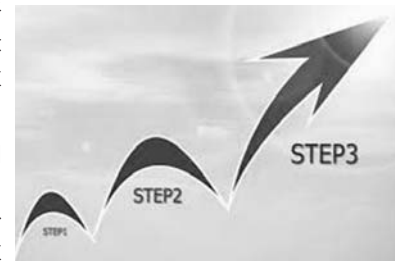


(原 航・会員No.44443)

◇業務独占となっていないことは事実ですが、その認識で活動することが大切だと感じます。社会福祉士が勤務する職場でも、必ずしも専門性を理解している状況とは言えません。P5「分析結果」にもあるように、職能団体として社会福祉士が勤務する機関や団体等に対しても、必要性を提言することも必要だと感じます。そのための4本柱と認識しました。

(大日方直樹・会員No.48938)

◇的確な分析に基づく活動方針と具体計画が定められた素晴らしい内容だと思います。「絵に描いた餅」とならないよう、会員一人ひとりがこの中期ビジョンを念頭に置いて行動するように普及啓発を図っていく必要があると思います。まずは、組織率の向上を目指して、会員・非会員問わず語り合える場づくりが必要と考えます。新型コロナの影響で集まることが難しくなっていますが、WEBツールを活用することで離れていても情報交換ができると感じます。具体的には、「LINE WORKS」等のグループウェアの導入を提案します。



(荒井 俊光・会員No.41642)

◇長野県社会福祉士会がどのような団体を目指しているのか、それに向けてこの5年間で何をしなければならぬのかということがよくわかる内容になっていると思う。現会員の一人ひとりがこの中期ビジョンをどれだけ自分のこととして考えるかが肝になると思う。

(西澤 亜紀・会員No.44478)

◇中期ビジョンの取組みは、役員・委員を先頭にみんなでも取組むことが重要です。コロナ禍を期に、思いきった業務の電子化を進めてみるのはいかがでしょうか？広報紙等も含めた紙媒体の印刷コストと郵送コストの削減にもつながると思います。そして今後は、オンライン研修の機会なども増えていくと思います。積極的に取組む必要があると思います。

(端田 篤人・会員No.37922)

端田篤人会員は、コメント寄稿4日後に急逝されました。

# 『笑顔をつなぐ』 築こう、高めよう、ともに歩もう 公益社団法人長野県社会福祉士会

## 本会シンボルマーク



時に優しく時に厳しくも寛容な信州の風土の如く（山と空）、会員一人一人がしなやかな背骨をもち、真摯にそして果敢に、共鳴し合える社会を目指して挑み続ける職能団体であることを表現しています。

つながりを見失い深く傷つく人々を、名もなき社会福祉士たちがつなぐ支援のリレーは（連結した円）、必ずその人の生きる喜び（太陽）につながることを確信します。

それは心と体、そして魂の共振をもって“ともに歩む”長野県社会福祉士会の姿です。

## 中期ビジョン2020シンボルマーク



「NACSW」をパーツにした親しみやすい表情は、中期ビジョンプロジェクトのスローガンである『笑顔をつなぐ』を表現しており、円内の矢印は会の発展を意味します。

柔軟な発想と俊敏な機動力をもってベストを尽くす社会福祉士が結集し、可能性を秘めた有機的集団となって、真の共生社会の実現に向けて挑戦するプロジェクトであることを意味しています。

長野県社会福祉士会は、今後5年間『笑顔をつなぐ』をテーマに、ソーシャルワーカーの役割を果たすために、シンボルマークを積極的に活用して事業展開を図ります。（本会「シンボルマーク取扱い要領」）

- ① 長野県社会福祉士会の広報活動に積極的に活用します。
- ② 長野県社会福祉士会の主催する研修事業に積極的に活用します。
- ③ 長野県社会福祉士会の会員であることを明記する名刺などに積極的に活用します。

## 「信州ぐるっと！！ 特色ある福祉活動を紹介」 ソーシャルワークと武道教育

佐藤 公 治（長野県社会福祉協議会 まいさぼ信州長野）

空手を通じた青少年健全育成事業として、2011年、海外道場で家庭内問題、精神疾患のある子ども等の指導を行ってきました。日本を離れた南国の環境、黙想や武士道の精神論に触れて稽古で全身運動を行う中で、ご本人の状態が劇的に変わり笑顔になる事で家族や周りの人たちも笑顔になっていく姿に感動しました。帰国後、子どもたちの支援において、より専門性の高いかわりができるようにソーシャルワーカーを目指しました。道場では学校で教わる事のできない年上に対する敬意や礼儀、いじめや暴力を行ってはいけない道徳観、注意しても話を聞けない子どもに愛情を持って本気で怒る等、子どもたちへの指導方法を学びます。指導者がソーシャルワークを理解する事で、発達障がいのある子どもへ稽古内容の配慮、両親の支援等も意識する事ができます。道場という空間から学べる社会規範、夏合宿などの年中行事で生まれる仲間意識や福祉感覚の共有、地域の誰もが健康で過ごせる共生の居場所づくり等はソーシャルワークと武道教育が織りなす社会資源となっています。

私自身、これからも社会福祉士そして空手指導者として成長しながら子どもたちの未来に役に立てるように努めていきます。



信濃町武道場にて夏合宿

# 私の考える社会福祉士、社会福祉士会とは

## 東信地区

氏名：小林 寿美恵  
所属：ローマンうえだ  
福祉相談センター  
ひだまり  
職種：介護支援専門員



### 業務内容：

居宅のケアマネジャーとして、介護チームのサービス調整や相談支援を行っております。

### ① 社会福祉士を志した理由

担当していた統合失調症のご利用者様が突然死されたときに心が揺さぶられ、精神疾患の知識が必要と感じ、精神保健福祉士の資格があることを知りました。精神保健福祉士資格取得のため、まずは社会福祉士を受験しようと思ったのが始まりでした。

### ② 社会福祉士としての意気込みや抱負

複合的多問題を抱えたご本人・ご家族へ「断らない相談支援」の提供や金銭だけではない心の貧困についても向き合いあえる、また、「生きづらさ」に寄り添えるような、社会福祉士を目指していきたく思います。

### ③ 座右の銘または好きな言葉

樹木希林さんの広告のキャッチコピー『死ぬ時ぐらい好きにさせてよ』です。希林さんはこうも話されていました。がんになると「いつかは死ぬ」から「いつでも死ぬ」になる。「いつでも死ぬ」と思うと、生きている間、面白がりた。いつでもユーモアを忘れず、慈愛にあふれ、人々を魅了してやまない生き方にあこがれています。

### ④ 社会福祉士会で取り組みたいこと

地域共生社会を念頭において「地域づくりに向けた支援」を目指し、ご本人・ご家族の伴「奏」者となり多世代との交流や活躍の機会、役割を共に生み出せるような支援に取り組みたいと考えております。また、より質の高い福祉サービス提供へ向け「人生の最終段階における生活や生き方の質を尊重する支援」について考えを深め、引き続き取り組んでいきたいと思っております。

## 北信地区

氏名：皆川 雅志  
所属：長野市地域包括  
支援センター  
若槻ホーム  
職種：地域包括支援センター  
社会福祉士



### 業務内容：

高齢者やその家族、地域からの総合相談窓口としての対応のほか、成年後見制度の活用や高齢者虐待対応など権利擁護に関すること、困難事例等に対するケアマネジャーとしての支援、介護予防プランの作成等を行っています。

### ① 社会福祉士を志した理由

志した理由はいくつかあります。私自身がケアマネジャーとして力不足を感じた経緯からスキルアップを図りたいと考えていたことや、職場の先輩社会福祉士の誠実で支援を諦めない対応に憧れを抱いたこと、長女の小学校入学に併せ、私が学びに取り組む姿を見せることで、学ぶ姿勢を娘に伝えたかったことなどです。

### ② 社会福祉士としての意気込みや抱負

資格取得が当初の大きな目標でしたが、いざ取得できると、噂に聞く「やっとスタート台に立てた」状態だと解りました。グローバル定義の通り、実践に基づく専門職として、倫理綱領に則った支援をしていきたいと思えます。また、多問題を抱えた家族の増加により、高齢者分野の問題に対応すればそれだけで解決、という訳ではなくなってきています。高齢者分野内の協働に限らず、多分野との連携・協働を図っていきたくと思えます。

### ③ 座右の銘または好きな言葉

『しょせん全ては小さなこと』  
20年前に手にした本のサブタイトルです。当時スノーボードに熱狂していた私は、約2ヶ月の滞在予定で渡航。しかし、途中で宿泊施設の予約ができていないことが発覚。英語を話せない私には絶望的な状況でしたが、この言葉のように考えられたことで、冷静に対処できました。以降、心のよりどころとしている言葉です。

### ④ 社会福祉士会で取り組みたいこと

積極的に研修に参加し学びを深めるとともに、多分野の方とのつながりもつくっていければと思っています。昨年基礎研修Ⅰを受講したかったのですが、申し込み期間超過で参加できなかったのですが、今年度は参加できればと思っています。段階的に学びを深めていくことで、研鑽していきたくと思えます。

社会福祉士国家試験合格おめでとうございます！そして長野県社会福祉士会に入会いただき、誠にありがとうございます。長野県社会福祉士会は、公益社団法人として各種セミナーや研修を行い、県民生活の支援と権利擁護を図り、誰もが住みよい社会づくりをめざします。今号では新人会員の皆様から、社会福祉士を志した理由、意気込みや抱負について聞かせていただきました。新入会員の皆様、ともに社会福祉士として自己研鑽してまいります。

## 南信地区

氏名：熊谷 匡 嗣  
所属：飯田市社会福祉協議会  
いいだ成年後見  
支援センター  
職種：後見センター職員



### 業務内容：

成年後見制度の普及・啓発のための研修会、出前講座、広報活動の実施。成年後見制度に関する相談対応等、利用検討が必要な方への支援。法人後見に関する実務一般。成年後見制度に係る機関、専門職、職能団体との連携。

## 中信地区

氏名：井 口 翔 太  
所属：松本市役所高齢福祉課  
職種：社会福祉士・  
精神保健福祉士



### 業務内容：

行政という立場で居宅介護支援事業所・地域密着型サービスの指定はもちろん、実地指導など適切な運営を行っている事業所を支援するとともに、介護保険給付の適正化に取り組んでいます。

### ① 社会福祉士を志した理由

成年後見支援センターに異動となり、相談対応や法人後見実務において、権利擁護に関する知識だけでなく、福祉や医療をはじめとして、さまざまな知識が必要であることを痛感しました。自分が業務で求められている幅広い知識を身につけること、社会福祉士資格取得の学習には重複する部分も多く、取得を志しました。

### ② 社会福祉士としての意気込みや抱負

個人を独立した存在と考えるのではなく、本人をとりまく環境と関係をもった存在であることを忘れることなく、本人が今まで歩んできた歴史と培ってきた関係性を大切にしたいです。本人の関係者とは円滑な関係を作り、手放してしまったり、薄くなってしまった関係は再構築するなど、関係性の維持を援助することにより、支援を開始した時より深い関わりをもってもらえることを心掛けていきたいと思っています。

### ③ 座右の銘または好きな言葉

フランス啓蒙思想家ヴォルテールの言葉とされている『私はあなたの意見には反対だ、だがあなたがそれを主張する権利は命をかけて守る』です。どんな考えも一旦自分の土俵に上げ、中立的な態度で判断し、よいものは受け入れるという態度を持ち続けていきたいと思っています。

### ④ 社会福祉士会で取り組みたいこと

研修やさまざまな集まりを機会として、人との出会いを大切にしたいと思っています。会でのつながりは日々の業務をより円滑にすることもあります。また、人に感動したり刺激を受けたり反省したりと、自分はこれで良いんだと立ち止まらぬよう、成長し続けていけたらと思っています。

### ① 社会福祉士を志した理由

高校3年生の頃に祖父が入院し、病院のソーシャルワーカーが親身になって退院後のサービス調整をしてくださる姿を見て、社会福祉士の資格を取得しようと思志しました。大学生時には精神保健福祉の講義を受ける中で、精神保健福祉士の魅力に惹かれ、卒業後は医療機関に就職をしました。現在は社会福祉士の幅広い視点で、幅広い業務をおこないたいと思い行政へ転職をしました。

### ② 社会福祉士としての意気込みや抱負

ご本人はもちろんのこと、サービス提供をする事業所も「置き去りにしない対応・支援」を心掛けていきたいと思っています。そのためには制度の知識はもちろんですが、偏りのない視点を持って業務にあたりたいと思います。また、現在は直接的支援は少ないですが、疾病や障がいなどにとらわれず、その方の背景や全体を見て、支援にあたることも念頭に置くことを大切にしていきたいと思っています。

### ③ 座右の銘または好きな言葉

『達成感や満足感を味わえば味わうほど、前に進める』

メジャーリーグでも活躍されたイチロー選手の言葉です。幼少期から野球をやっていたため、苦しい練習に耐えたときなど、ちょっとしたことで達成感や満足感を味わいながら頑張っていました。仕事においても小さなことでも喜びを感じたり、達成感や満足感を得ることがモチベーションや成長につながっていると思います。

### ④ 社会福祉士会で取り組みたいこと

今まで研修や講演会などに参加することができていなかったため、可能な限り参加しスキルアップを目指していきたいと思っています。虐待・災害などの初動の方法なども学びたいなと思っています。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

☆長野県社会福祉士会への入会をお待ちしております！

社会福祉士会は社会福祉分野のみならず、医療・教育・行政など、さまざまところで活躍されている方が多くいらっしゃいます。

未入会の社会福祉士の方、入会を通じてご自身のスキルアップやネットワークを広げてみませんか？

\*入会希望の方は、長野県社会福祉士会までご連絡ください。

## 「社会福祉とはなにか。から考える福祉観」

堀 込 匠（軽井沢町社会福祉協議会）

「人として、かっこよく生きていたいじゃないか」

私の好きな曲の歌詞にこんな一節がある。

仕事を始めて5年が経過した。振り返ってみれば大学での学びはあったものの、実際の現場ではまさに右も左もわからない手探り状態であった。もがき続けた5年だったと思う（今も継続中だが）。

ありがたいことに今日に至るまでにたくさんの方と巡り会え、一緒に仕事をさせていただいた。貴重な経験をたくさんできたと思っている。その中で私が一番大切だと実感したのは、対面したその人が“どんな想いを持っているか”を汲み取り・行動することだ。

利用者であれば、どんな想いを持って今この場にいるのか。同僚であれば、どんな想いを持って職務にあたっているのか。地域の方は、どんな想いを持ってこの地域で生活をしているのか。立場によって、環境によって想いはそれぞれだが、共通してあるのは「かっこよく生きていたい」という想いではないか。その人らしく、かっこよく。それぞれのかっこよさを、時に寄り添い、時に喜び、時に背中を押すのが社会福祉士の役割ではないかと、冒頭の一節に出会った時に強く感じた。歌詞に込められた想いの強さを感じた。

これからもさまざまな出会いがあり、さまざまな人生に巡り合っていくのだと思う。さまざまな想いとふれ合っていく中で、自分なりの「かっこよく」を追求していきたい。かっこいいパパでもありたい。

\*次号は、長野県社会福祉協議会 齊藤 舞さんにバトンタッチします。



## 2020年度 定時総会

今年度の定時総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために委任状や書面評決を呼掛けての開催となった。会場の長野県食糧会館には、萱津会長、青柳監事、塩澤理事、議長の小野貴規北信副支部長、小池事務局長が出席して開催された。

総会の成立要件は正会員1,135人の過半数568人であるが、出席者705人（委任状や書面評決含む）で、第1号議案「2019年度収支決算、第2号議案「会費に関する規則の一部改正」第3号議案「苦情対応規則の一部改正」は可決承認された。

### 今後の予定

最新の予定は、本会ホームページ（<https://nacs.w.jp/>）をご確認ください。

日時(曜日)	事業名・研修名	会場	備考
8月22日(土)	第3回理事会	オンライン会議	
8月29日・30日	社会福祉士実習指導者講習会	オンライン研修	
10月3日(土)	基礎研修Ⅰ 集合研修1	松本市総合社会福祉センター	集合研修2は1月
10月3日・4日	成年後見人材育成研修①②	松南地区公民館	③④は11月

◎入会状況（2020年5月末現在） \*会員数：1,151人 入会率：27.34% 人口10万人あたりの会員数：56.17人

### 編集後記

私たち社会福祉士は人と人のネットワークによって、誰もが安心して暮らすことのできる社会の実現を目指しております。新型コロナウイルス対策によって社会の様式が様変わりしてきましたが、「人のかかわり」は無くすことはできません。今年度も新たな会員が入会しました。今こそ、相談援助の専門家集団『長野県社会福祉士会』として、ともにその使命を果たしていきましょう。

(K. O)